

令和 6 年度

第 1 回

士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議

議 案

顛 末

日 時：令和 6 年 8 月 23 日（金）

午後 4 時 00 分～ 5 時 10 分

会 場：市役所本庁舎 2 階 会議室 2 0 1

会 議 次 第

1 開 会

[企画課長]

○令和6年度第1回士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を開会する。

2 委 嘱 状 交 付

[企画課長]

○はじめに、委員の皆さんに委嘱状を交付させていただく。

3 挨 拶

[企画課長]

○渡辺市長から挨拶をさせていただく。

[市長]

○これまで、総合戦略のなかで「まちの未来創造」「農業未来都市創造」「合宿の聖地創造」を柱として進めている。

○今後、まち・ひと・しごと創生総合戦略を、第2次士別市まちづくり総合計画へ包含し、一体として地方創生を推進していく方向で考えている。

○委員のみなさまから忌憚のないご意見をいただきたい。

[企画課長]

○はじめに本日の資料の確認を願う。

○本戦略会議の議長・副議長について、議長には、士別商工会議所の奈良委員、副議長には、本日欠席となっておりますが、事前に北ひびき農業協同組合の笹村委員にお願いしたい。

○それでは、奈良議長からご挨拶願いたい。

[議長]

○委員のみなさんから忌憚のないご意見等いただきながら、今後の総合戦略に反映できるよう実りある会議としたい。

4 報 告

(1) 地域経済循環分析調査研究事業について

[議長]

○それでは、(1) 企業版ふるさと納税の寄附実績について、担当者からの説明を求める。

[企画課係長]

○企業版ふるさと納税の寄附実績について、資料1に基づき説明

・資料に記載はないが、令和6年度は8社からの寄附があり、充当事業はハーフマラソン開催事業となっている。

○ただいまの説明内容について、ご質問・ご意見をいただきたい。

—質問・意見等なし—

5 議 事

(1) 第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略重点プロジェクトの検証について

[議長]

○次に、(1) 第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略重点プロジェクトの検証について、担当者からの説明を求める。

[企画課係長]

○資料2の1ページ、R5数値目標の実績について説明

[総務部長]

○まちの未来創造 No.1、2、5、6、12、13について説明

[経済部長]

○まちの未来創造 No.3、4、7、8、9、10、11

○農業未来都市創造 No.14～20について説明

[生涯学習部長]

○合宿の聖地創造 No.21～24について説明

[議長]

○ただいまの説明内容、各プロジェクトのうち、特にK P Iの達成していない項目について、ご質問・ご意見をいただきたい。

[委員]

○No. 9、台湾の大学生のインターンシップ受入れについて、相手方と合わなかった条件とはどのようなものか。

[経済部長]

○日程的なところもあったが、一番は経費的な部分での折り合いがつかなかった。

[委員]

○No. 21、リピーターチームの獲得に向けて、市としてできることをどのように考えているか。

○合宿の宿泊施設に対しての取り組みは。

[生涯学習部長]

○合宿に来た監督・コーチ等と意見交換会を開催し、ニーズ把握を行っている。陸上競技場の改修等の環境整備についても、様々なチームからご意見をいただき、トレーニング環境の充実を図っていく。

○休業中の宿泊施設に対して、市でどのような対応ができるか宿泊施設と協議をしていく必要があると考えている。

(2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用羊のまち士別「サフォークラム」ブランディング応援金事業の検証について

[議長]

○次に、(2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した羊のまち士別「サフォークラム」ブランディング応援金事業の検証について、担当者からの説明を求める。

[経済部長]

○資料3 羊のまち士別「サフォークラム」ブランディングビジョン数値目標について説明

・ふるさと納税額7,200万円のうち、羊肉に関する返礼品は1,390万5千円、19.6%であり、士別産の羊肉の返礼品は1,126万4千円、15.6%であった。羊肉全体のうち士別産のものの割合は81.0%であり、士別産のブランド力が高まっていると捉えている。

[議長]

○ただいまの説明内容について、ご質問・ご意見をいただきたい。

[委員]

- 士別産サフォークのブランド力が高まっているにも関わらず成雌めん羊の頭数が増えていかないのは、飼養者数が確保できないからか。要因をどのように考えるか。
- 需要があるうちに出荷していくことが重要。羊が儲かるようにしていかなくは後継者や新規就農者が増えていかない。計画的に儲かる産業として育てていただきたい。

[畜産林務課長]

- 羊飼養の農業応援アドバイザーが変わり、生産効率の向上を図っている。年数の経過した成雌や受胎率の悪い成雌の早めの淘汰を進めてきたところ。いったん成雌飼養頭数は減少したが、現在は増えてきている。生産効率向上の取り組みにより受胎率が大きく飛躍した農場があり、当時 122%だったところ、今年度 171.9%まで改善してきている。

[委員]

- 士別市では羊の人工授精を行っているか。
- 衛生面の管理が重要と考える。かつては市内でもスクレイピーが発生して大きな被害が出た。家畜保健衛生所の指導を受けながら衛生面の管理を実施しているか。

[畜産林務課長]

- 士別市では人工授精は行っていない。北海道全体のめん羊生産者の協議体では、昨年度道の補助を受けて人工授精の試験を実施しており、研修会を通じて授精技術の向上を図っている。
- 飼養衛生管理は個々の農家で取り組んでおり、家畜保健衛生所の直接指導等はない。種雄羊は自家繁殖で使用する場合がありますため、スクレイピー検査を実施、リスクの低い個体を使用している。検査費用の一部を市で助成している。

[委員]

- ふるさと納税で市から出ていく額は把握しているか。

[経済部長]

- 昨年度に士別市民が他自治体へふるさと納税を行った額は約 3,500 万円と市民部から聞いている。

(3) 『まち・ひと・しごと創生総合戦略』の『第2次士別市まちづくり総合計画』への包含について

[議長]

- 次に、(3)『まち・ひと・しごと創生総合戦略』の『第2次士別市まちづくり総合計画』への包含について担当者からの説明を求める。

[総務部長]

○資料４ 総合計画と総合戦略の一体化についてについて説明

- ・総合計画の中にどのような形で位置づけるか等はまだ定まっていないが、総合計画の中に総合戦略を含めていく考え。位置づけ方等庁内の案がまとまり次第、委員の皆さまにお示しし、ご意見を伺いたい。

[議長]

○ただいまの説明内容について、ご質問・ご意見をいただきたい。

[委員]

○計画年度について、新たなまちづくり総合計画は25年後の2050年の姿を見据えた計画となるが、総合戦略も同じ計画年度となるか。

[総務部長]

○現総合計画は令和7年度まで、現総合戦略は令和8年度までのため、総合戦略は1年前倒しして包含する。新しい総合計画はまちづくりの在り方や人口等について25年の期間で考えており、これを8年ごとに区切り、基本計画として整理することを想定している。総合戦略についても人口等については25年、実施する事業については8年計画の中に含めるイメージでいる。

6 そ の 他

[議長]

○次に、「6 その他」であるが、事務局から何かあるか。

[企画課長]

○7月に策定された『北海道総合計画』の概要について、北海道上川総合振興局寺山地域創生部長より説明をお願いします。

[上川総合振興局寺山地域創生部長]

○『北海道総合計画』の概要について説明

- ・北海道を取り巻く状況・特性・潜在力等を整理したうえで、今後10年間の北海道の目指す姿を取りまとめた計画となる。これを踏まえて、道内を6つの地域に分けて地域づくりの基本方向・取り組みを作成していく。今年度中に取りまとめて、皆さまにお示ししたい。

7 閉 会

[奈良議長]

○それでは、これで「士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」を終了する。